

特集

男女共同参画のものさし



扉 888タワー

小畑美史 1



まなぶということ

山田（樋浦）敬子 2



今月の統計資料

4



詩 初めてのともだち

木村 和 8



昇進を望む、私の思い

大沢佑子 10

管理職に昇進する、しない

藤井桂子 12

平等社会を切り開くのは「昇進」択なの

武井美由子 14

「昇進したい」と女性が思える職場に

山口かおる 16

女性の登用に欠かせないジェンダー平等の取り組み

新井栄三 20

韓国 ジェンダーギャップの解消に挑む

韓 興鉄 24

オーストラリア ジェンダーギャップの逆転現象

富田 環 29

中国 女性の「出世観」

吉田陽介 31

日本のうしろ 世界のうしろ

賃上げムードの24春闘

各労組の要求は 荒川創太

2024年、自民党政治の終焉へ

丸山重威 33

悪夢が再来するアルゼンチンでゼネスト

浦田 誠

職場の法律相談

残業代を請求していたのに会社が廃業

秦 雅子 58

国家と教育

12

現代の道德教育

高橋 哲 61

◆ キャラバンサライ

44

◆ スポーツ時評

46

◆ メルボルン便り

48

◆ 経済を知ろう！

50

◆ 中国観看

52

◆ たちみ席

54

◆ 働く現場から

55

◆ みんなで歌を

56

◆ 情報BOX

65

◆ 北から南から

66

◆ センターと

68

◆ みなさんをつなぐ

カット＝野崎安希子

まなぶということ

「群馬の森 追悼碑」強制撤去

山田（樋浦）敬子

「群馬の森 朝鮮人労働者追悼碑」（高崎市）が群馬県により1月末に撤去された。「記憶反省 そして友好」の追悼碑を守る会（以下、守る会）へは碑文プレート3枚が返還されたが、追悼碑は瓦礫の山と化した。工事費用は「守る会」に概算3千万円が請求されている。

群馬県下には、戦時下、約6千人の朝鮮人が労働動員され、40を超える鉱山、飛行場、鉄道工事の現場で過酷な労働に従事した。その実態が、市民も参加した資料の掘り起し、証言、聞き取り調査などであきらかにされている。

2001年、県議会は全会一致で県立公園に追悼碑を設置することを認めた。ただし県は、「政治的・宗教的な場にならない」ことなどを設置の条件とした。碑文も県と調整が重ねられた。村山談話や日朝平壤宣言を踏まえつつも、右派がこだわる「強制連行」も「強制労働」もない。04年、570万円をかけて完成。昨

年追悼碑を訪れる機会があったが、日本語とハングルで追悼文を記した追悼碑は、うっそうとした森の一面に、ひっそりとたたずんでいた。

では、なぜいま、撤去か。2014年、県は、追悼式で「強制連行」の言葉が使われたことを理由に、追悼碑が政治的な場になってしまったとして、公園の土地の借用更新を拒否した。右派団体の主張に屈した形だ。そこで「守る会」は、更新を求めて提訴。1審の前橋地裁では、「守る会」が勝訴。2審東京高裁では「追悼式で『強制連行』という文言を含む政治的発言があり、追悼碑は中立的な性格を失った」と、県が逆転勝訴。最高裁も「守る会」の上告を棄却、高裁判決が確定した。山本一太知事は、追悼碑そのものは問題がないが、司法判断に従った撤去だと、重機でプレート以外の追悼碑を破壊した。

「強制連行」という発言は、果たして県立公園に追悼碑を存置することを許さない政治的なものなのか。行政がなすべきは、歴史に学ぶ場、近隣諸国との友好を築く場を提供することではないのか。

（山川菊栄記念会）